

授業科目名： 英語（初等）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：東田彰子 担当形態：単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門事項 ・英語		
授業の到達目標及びテーマ 英語が小学校5、6年生で教科化される。そして、3年生から外国語活動が始まる。小学校教員として児童に英語を教えるために必要な言語習得についての理論や授業実践に必要な英語力や英語音声についての知識を養う。また、発音とスペルの関係を理論と実践の両方から理解する。さらに、小学校での教科として英語の授業ができる英語力と指導力を習得する。			
授業の概要 外国語習得に関しての基本的な知識を得て理解する。英語の4技能である「聞くこと」「話すこと（やり取り・発表）」「読むこと」「書くこと」を指導するために必要な知識や指導力を学ぶ。また、言語の仕組みへの気づきを指導するための具体的な英語運用能力を高める学習をする。フォニックスや絵本のリーディングを通し、教材を開発する方法を学び、4技能複合型の活動を行い、育成をはかる。			
授業計画 第1回：授業の進め方。小学校英語教育導入の経緯と現状の把握をする。 第2回：第二言語習得理論の基礎を学ぶ。また、さまざまな外国語指導法を知る。 第3回：小学校5年生の教科としての「英語」 第4回：小学校6年生の教科としての「英語」 第5回：発声練習：「自己紹介スピーチ」に使う例文を作成する。それを使って英語で自己紹介スピーチ文を作り、発声練習する。 第6回：小学校英語における4技能指導方法を知る単元：その技能を伸ばすために使える教材を知り、実際に活用してみる。 第7回：スモールトークの練習の単元：実際に小学校で授業をするときの導入方法としての「スモールトーク」を考える。視聴覚教材を参考に自身の会話を英文で書く。 第8回：フォニックスについて知る単元：フォニックスとはどんなものかを実際に知り、体験する。授業に生かす方法を学び、その単元の構想をねる。 第9回：絵本を使った学習を学ぶ単元：英語の絵本や日本の民話や昔話の英語版から選び、読み聞かせの練習をする。 第10回：国際理解をねらいとした単元：日本と外国の文化や伝統の違いを学び、パワーポイントなどを使い、その違いに特化した教材作りを試みる。 第11回：ICT活用の単元：楽しいゲームやクイズを、ICT機器を使って作成してみる。作成した教材を客観的に分析し、評価する。 第12回：コミュニケーション能力育成のための単元：視聴覚教材を使い、コミュニケーション活動の方法を学ぶ。 第13回：ティームティーチングについて学ぶ単元：視聴覚教材を見て実際のティームティーチングの様子を知る。同時に授業の流れを記録する方法を学ぶ。また、ティームティーチングの方法や教材などについて研究する。 第14回：教材研究の単元：実際に教育現場で使われる、「Hi, Friends!」「We Can!」「Let's Try」の教材を知る。それぞれの年間指導計画や実際どのように使われるかなどを研究する。 第15回：小学校英語教育のまとめと振り返り：全講義を通じての重要ポイントを整理する。その後、課題解説をよく読み課題に取り組む。			
テキスト："Hi, Friends!"(1)(2) "Let's Try"(1)(2) "We Can!"(1)(2) (mpi 松香フォニックス) 小学校学習指導要領 英語（文部科学省）、大学制作のweb教材(独自)			
参考書・参考資料等：小学校学習指導要領、「小学校外国語活動の進め方」岡秀夫、金森強（成美社） 学生に対する評価：課題提出（2課題）及び最終課題			